

ご自由にお持ちください

2024年

November

11

月号

Topics

『eGFR』とはどのようなもの？

内科（腎臓） 教授：小岩 文彦

Contents

- Topics 『eGFR』とはどのようなもの？
- Events 市民公開講座開催のお知らせ
褥瘡対策セミナー開催のお知らせ
- Information ベストドクターズに選出されました
- News 大規模地震時医療活動訓練に参加しました！
消火活動の訓練会に参加しました！
2024パラリンピック選手が当院を表敬訪問
- Report 患者さんからのご意見・ご要望



昭和大学
藤が丘病院



昭和大学
藤が丘リハビリテーション病院



eGFRとはどのようなもの？

内科（腎臓） 教授：小岩 文彦

eGFRとは、簡単に言うと、腎臓の働きを知るための指標です。正式名称は「推定糸球体濾過値」という難しい用語です。医療機関で実施した血液検査の結果に記載されていることが増えてきました。

腎臓に入り込んだ細い毛細血管は0.2mm程の小さな袋の中で糸の球のような形をしており、ここで血液が濾過されます（下図参照）。これが尿のもとになって必要な成分を体に戻して尿が作られます。

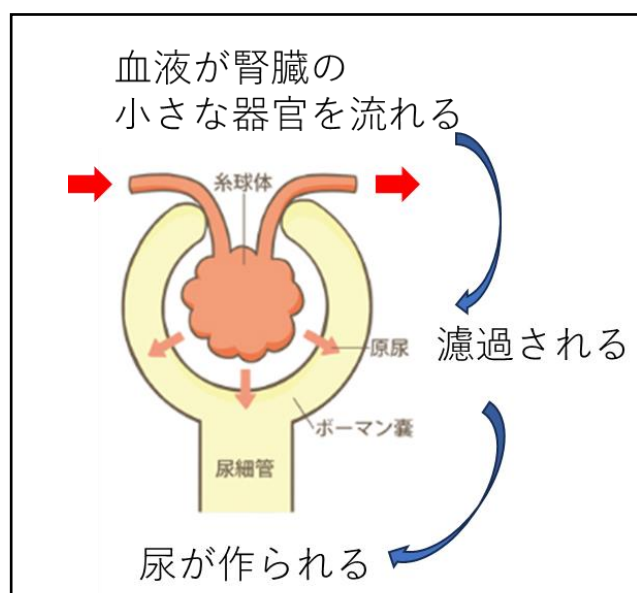
この時に濾過された1分間の量がeGFRとなります。すなわち、血液を濾過する能力ということになります。eGFRは血液検査で調べることが可能で、血液中の血清クレアチニン値と年齢、性別の3つの項目から算出されます。

eGFRの動きを見ることによって、腎臓の状態を早めにとらえることも可能です。

腎機能の正常値は？

eGFRが60mL/分/1.73m²以上が正常ですので、60mL/分/1.73m²未満が続いた場合、腎機能が低下している可能性があります。eGFRの評価は少なくとも3か月以上の腎機能の動きで判断する必要があります。

心臓病などの病気に罹患した、腎臓に負担がある薬剤を内服した、水分の摂取があまりできなかった、などもeGFRの低下に影響することがあります。ただし高齢者は年々少しずつ腎機能が低下します。また、もともと腎機能が低めの人もありますので、腎機能が低い方は是非主治医にご相談ください。



尿が作られる仕組み
(看護rooの許諾にて使用)

Event ①

市民公開講座開催のお知らせ

11月23日（土）、藤が丘病院・藤が丘リハビリテーション病院「市民公開講座」を**対面開催**いたします。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

- 〈開催日時〉 2024年**11月23日**（土）10時00分～
〈会場〉 昭和大学藤が丘病院 研究棟（C棟）「臨床講堂」（横浜市青葉区藤が丘1-31-21）
〈演題〉 講座①「知ることで守る！フレイルなんて怖くない！毎日の生活で撃退！」
藤が丘リハビリテーション病院 リハビリテーション科 教授 川手 信行
講座②「フレイルによる転倒を防ごう！～転ばない身体づくり～」
藤が丘リハビリテーション病院 リハビリテーションセンター 渡部 喬之
講座③「食べて守る健康！フレイル予防の栄養法」
藤が丘リハビリテーション病院 栄養科 中村 晃洋

- 〈申込方法〉 申込×切：11月20日（水）
病院HPより/電話
電話番号：045-971-1151（代表）
※交換台につながりますので、管理課に取り次ぐようお伝えください
担当：藤が丘病院 管理課



褥瘡対策セミナー開催のお知らせ

テーマ

褥瘡を予防するには！ ～褥瘡予防から治療まで～



公開期間 2024年11月5日～2024年12月23日まで
視聴方法

- ① 藤が丘病院・リハビリ病院ホームページにて公開予定
- ② 昭和大学YouTubeチャンネルにて公開予定

当院で日々行っている褥瘡の予防・治療に必要なリハビリや薬剤などの知識について、医療従事者はもちろん、一般の方にもわかりやすい動画となっています。褥瘡について興味がある方は、是非ご視聴くださいますようお願い致します。

ご視聴後にはアンケートへのご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

講演者

- ・ 褥瘡予防のための体位調整と動作介助について
昭和大学藤が丘病院 理学療法士：永田康祐
- ・ 褥瘡予防・治療に使用する薬剤について
昭和大学藤が丘リハビリ病院 薬剤師：川添潤
- ・ 病院や在宅で使用する体圧分散用具と創傷被覆材について
昭和大学藤が丘病院 皮膚・排泄特定認定看護師：富田和也
- ・ 具体的な褥瘡治療について（軟膏や手術療法）
昭和大学藤が丘病院 形成外科医師：小島康孝

昭和大学藤が丘病院
褥瘡対策委員会 委員長
皮膚科教授 中田 土起丈

ベストドクターズに選出されました！



内科（腎臓）
小岩 文彦 教授

藤が丘病院 内科（腎臓）の小岩 文彦 教授がベストドクターズ2024-2025に選出されました。今回で2度目の選出となります。

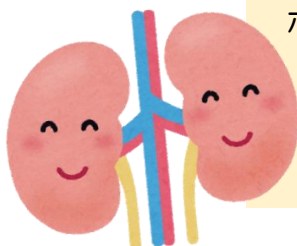
「ベストドクターズ」とは

米国ベストドクターズ社が名医として認定した称号のこと

選出は、医師間の相互評価に基づいています。
まず膨大な数の医師に対して「もし、あなたやあなたの家族が、あなたの専門分野の病気にかかった場合、どの医師に治療をお願いしますか？」とアンケートが行われます。そしてその中で、ある一定以上の評価を得た医師がBest Doctorsとして選出されます。
この調査は定期的に行われ、医師のデータベースが随時更新されます。したがってデータベース内には常に、最前線で活躍している経験豊富な医師のみが登録されています。



藤が丘病院 内科（腎臓）
ホームページはこちらから



News

大規模地震時医療活動訓練に参加しました！

DMAT業務調整員：廣井（藤が丘病院 管理課）

当院DMAT隊員が9月27日および28日の2日間にわたり大規模地震時医療活動訓練（通称：DMAT政府訓練）に参加いたしました。

当該訓練は、全国各地にて大規模地震が発生したという想定のもと、厚生労働省や各都道府県庁などの防災関係機関も交えて訓練を実施している全国的な防災訓練になっています。今年は神奈川県・東京都・千葉県・埼玉県の1都3県を想定被災地とし、当院のある横浜市は震度6強の想定のもと訓練を実施しました。

当院の訓練概要としましては、①全国から横浜市内に投入されるDMAT隊約30チームの市内の災害拠点病院への割振り②院内外で発生した傷病者のトリアージ(仮想)③患者搬送訓練(仮想)になります。患者搬送訓練では市バスを使用し、近隣の藤が丘リハビリテーション病院へ搬送しました。

DMATって
何だろう...



災害派遣医療チーム
(Disaster Medical Assistance Team)

大規模災害や多数の傷病者が発生した事故などの現場で、迅速に被災地へ赴き活動できる機動性をもった、専門的な訓練を受けた医療チーム

チームは、医師・看護師・業務調整員（医師・看護師以外の医療職）で構成し、4名～6名で活動する

DMATチームの割振りの様子＜横浜市DMAT活動拠点本部集合場所：藤が丘病院内＞



↑ 順天堂大学医学部附属静岡病院の
DMATチームがサポートしてくれました

↓ 市内道路の被災状況地図



トリアージ(仮想)、院内対応訓練の様子＜DMAT病院支援指揮所：藤が丘病院内＞



藤が丘リハビリテーション病院へ
↓ 転院搬送する様子



← 人吉医療センター(熊本県)と田岡病院(徳島県)
のDMATチームがサポートしてくれました

直近だと能登半島地震対応など神奈川県外で活動することが多い当院のDMATチームですが、県内あるいは当院が被災した場合の対応についても今後、深く考える機会となりました。
11月にもDMAT訓練(ビッグレスキューかながわ)も開催されますので、引き続き防災に対する意識向上とともにチーム力も高めていきたいと思います。

消火活動の訓練会に参加しました！

9月30日（月）、青葉自動車学校で行われた、青葉自衛消防隊連絡協議部会・横浜市青葉消防署主催「青葉区自衛消防隊消防操法技術訓練会」に参加いたしました。藤が丘病院で勤務している職員5名が4部署から集まって一つのチームとなり、練習を重ねた結果、「屋内消火栓操法Ⅰ」の部にて優秀賞を受賞することができました。

この訓練会は、各事業所が消火技術を向上させることを目的に実施されています。これからも、より多くの職員が院内に設置されている消火栓の使い方を習得することによって、迅速かつ適確に消火活動を行えるよう努めてまいります。



←大会当日 訓練終了後に消防車の前で記念撮影

左より、臨床工学室 吉村 茉莉恵、
リハビリテーション室 和泉 彩楽、
放射線技術部 加藤 樹、
看護部 師長 松林 幸子、
看護部 小野 生純



←大会当日
放水の様子

自衛消防訓練では、普段の医療系専門職とは異なる内容（姿勢、規律、ホースの使用、放水の手技等）を学ぶ機会があり、覚えることが多く、難しさも感じました。

しかし、普段あまり関わることのない他職種の方々と共に取り組むことで、交流を深める良い機会にもなりました。練習から本番まではあっという間に過ぎましたが、病院の組織の一員、そして地域社会の一員として少しでも貢献できたという実感があります。

藤が丘病院にも屋内消火栓が設置されているため、有事の際には今回の自衛消防訓練で学んだことを活かしていきたいと思います。このような貴重な機会をいただきありがとうございました。

藤が丘病院 放射線技術部 加藤 樹



↑病院長室にて、大会の報告と記念撮影
（中央）病院長 高橋 寛

2024パラリンピック選手が当院を表敬訪問

9月24日（火）、昭和大学藤が丘リハビリテーション病院内にあるスポーツ運動科学研究所は、2024年パリパラリンピック金メダリストである、車いすラグビー日本代表副将の羽賀 理之選手より表敬訪問されました。

スポーツ運動科学研究所の三邊 武幸所長、同選手のメディカルチェックを担当している楯野 英胤医師をはじめ、リハビリテーション科の医師や看護師等、多くの職員が交流させていただきました。また、実物の金メダルや金メダリストのみが所有できるパリパラリンピックのマスコットなどに触れさせていただきました。

職員一同、祝意と敬意を表するとともに、これからの益々のご活躍を願っております。



↑職員より、
お祝いの花束をお渡しする様子

←パリ2024パラリンピックの
金メダル、
ウェア、
ぬいぐるみマスコット

Report

患者さんからのご意見・ご要望

ご意見・ご要望

先生、看護師さんを始め、こちらの病院で働かれている方々、日頃より大変お世話になっております。入院している私自身、こうして健康な日々を送ることが出来ているのは皆様のおかげです。感謝してもしきれません。これからもお身体に気を付けてお仕事頑張ってください。いつもありがとうございます。

保険確認窓口のスタッフが不在時に、マイナンバーカードの保険証を使用して保険確認をした際、「保険確認済」のスタンプを押してもらえません。診療科の受付で再度保険証を確認するように言われるため、何か検討していただけないでしょうか。

回答・改善内容等

入院生活ではご不便をお掛けした点もあったと思いますが、このような感謝の言葉をいただきスタッフ一同とても喜んでおります。今後も安心して療養していただけるようスタッフ一同取り組んでまいります。

【藤が丘病院：6階東病棟】

このたびはご不便をお掛けし大変申し訳ございませんでした。状況改善のため、患者さんご自身で押印できるようにスタンプを設置させていただきました。貴重なご意見賜り誠にありがとうございました。

【藤が丘病院：医事外来課】

患者さんからのご意見・ご要望

ご意見・ご要望

16日間入院させていただきました。
看護師の皆様のやさしさには頭の下がる思いでした。
また、入浴・シャワーを担当していたAさんには、
色々とても分かりやすく教えていただき大変勉強になりました。
これからもお身体を大切にお過ごしくださいますように。
本当にありがとうございました。

回答・改善内容等

心温まるお言葉をいただき、ありがとうございました。
シャワー介助者も、励みになるお言葉をいただき喜んでおります。
患者さんにとって大変な時期を、少しでも安心して治療やリハビリが受けられることを念頭に、これからも患者さんの気持ちに寄り添う看護をさせていただきますと思います。

【看護部】

シャワー室の天井換気口の掃除をしてもらいたい。
サウナ状態なので、できれば扇風機（壁掛け）かなにか工夫をしてもらいたい。

この度はご不快な思いをさせてしまい大変申し訳ございませんでした。
ご意見をいただいたあとに現地調査を行い、7月22日に換気口の清掃を実施いたしました。
扇風機の設置につきましては、換気口の汚れ具合や清掃後の換気がスムーズなこともあり、現時点では換気口の点検と清掃頻度を増やして対応をまいります。
シャワー室内への電化製品設置は漏電や感電の観点から見送りたいと存じます。また、空調システムによる換気も適時実施してまいります。
今後も快適な環境づくりのため、お気づきの点がございましたら、ご意見いただけますと幸いです。

【リハビリテーション病院：管理課】

編集後記 秋から冬支度

暦の上でははや立冬となり、めっきり日脚も短くなってまいりました。旧暦の11月は霜月（しもつき）とも呼ばれ、文字通り“霜が降る月”の意味があります。朝起きてもなかなか布団から出るのが億劫になる日が増えてきました。

私の出身地である秋田県では様々な農作物の収穫が終わり、暖房器具のお手入れや雪対策をし始めるころです。酒蔵ではお酒の仕込みが行われ、仕上がり待ちが遠しく思います。

寒さもこれからが本番です。また、季節の変わり目は何かと体調を崩しがちになります。皆様におかれましても体調をしっかり整えて、寒い冬に備えていきましょう。

広報・公開講座委員会 委員：渡部 弘紀（リハビリテーション病院管理課）

昭和大学藤が丘病院
昭和大学藤が丘リハビリテーション病院

11月号

November 2024

「病院だより」通巻第367号
令和6年11月1日発行
【毎月発行】

発行責任者：昭和大学藤が丘病院 病院長 高橋 寛

編集責任者：広報・公開講座委員会 委員長 森岡 幹

編 集：広報・公開講座委員会



病院だより

昭和大学
SHOWA University